

くるピカセンサー

KSP-80 取扱説明書

使用方法

- 1.新品の単3形アルカリ電池を3本ご用意ください。
- 2.底部の電池蓋ロックをコイン又は爪の先で90°回して「開」にします。
- 3.指先でA部を引っ掛けて引き上げ、電池蓋を開けます。(図1)
- 4.電池ケースの奥にある「明るくても点灯」←→「暗い時だけ点灯」スイッチで、お好みの点灯条件を選びます。(図2)
- 5.電池を入れます。板ばね側が+側、コイルバネ側が-です。(図3)
- 6.電池蓋を閉めます。ロックを「閉」にします。(図4)
- 7.「明るくても点灯」を選んだ時は、ご自身の体温をセンサーが感知してすぐに光ります。(注)
- 8.「暗い時だけ点灯」を選んだ時は、周囲が10LUX以下の暗さでセンサーが人に反応した時だけ光ります。(注)
- 9.一度感知すると15秒間光ります。センサーの前に人が居ると連続して光り続けます。
- 10.本器の設置場所は高さ1m~2m程度の、人が横切る位置に取り付けてください。人が本器に向かって近づく方向は感度が悪くなります。(図5)
- 11.人感センサーが壁面設置の場合は下側に、台上設置の場合は前面に来るように設置してください。(図6)

図1

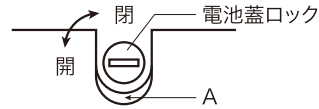


図2

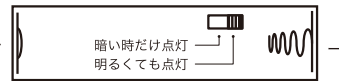


図3

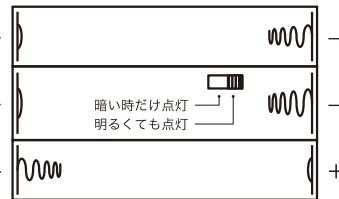


図4



(注)初回、電池を入れた時は動作するまでに10秒程かかることがあります。

図6

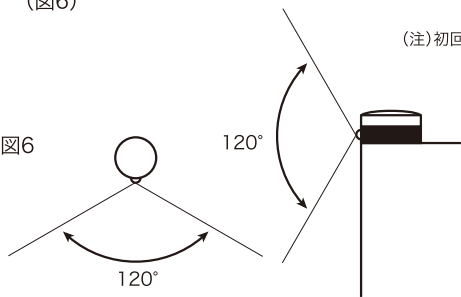
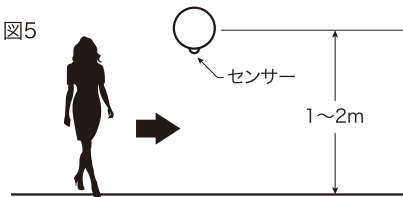


図5



使用上のご注意と設置について

- 1.電池は3本とも同一メーカー、同パック品の新品電池をご使用ください。
- 2.防滴構造になっていますので内部を開けないようご注意ください。
- 3.取付時や取付後に床面に落下させますと危険ですし、破損する恐れがあります。テープや、取付ネジでの設置にあたり、本器を落下させないようにご注意ください。屋外設置の場合は、風雨にあおられて落下しないようしっかり固定してください。

取付方法1 壁面にネジ止める

コンクリート壁・セラミック壁・金属板の場合

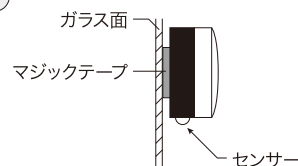
- ①ドリルで穴をあける
- ②ハンマーで壁面に樹脂リブを打ち込む
- ③ドライバーで木ネジをネジ込む
- ④2~3mm残す
- ⑤壁面のネジに引っ掛ける



取付方法2 ガラス面又は金属面にマジックテープで固定する

外壁や内装クロス面には使用できません

- ①マジックテープ貼付面の油・汚れをきれいにふき取る。
- ②マジックテープの片側を本体電池蓋に貼る。
- ③センサーを下向きにして、ガラス面に貼付ける。
- ④貼った後は、1日~2日はマジックテープをはがさないでください。



- 4.落下による故障は保証の対象となりません。
- 5.「感知距離が短くなった」「光が暗くなった」などの場合は電池切れです。電池を交換してください。
- 6.人感センサーやCdSセンサーの感度調整、点滅間隔の調整はできません。
- 7.使用環境によってセンサーの誤作動や、感度が変化することがあります。
- 8.屋外設置の場合は、太陽光や風により誤作動する場合があります。太陽光の当たる場所や自動車が通過する場所での使用は避けてください。
- 9.夏季の高温時には人を感知しにくいこともあります。この場合は故障ではありません。
- 10.電池切れで点灯しなくなったらすぐに電池を交換してください。
- 11.しばらくの間使用しないときは、必ず電池を抜いて保存してください。液漏れにより機器を壊す、置き場所を汚すなどの恐れがあります。
- 12.高温の場所や振動の激しい場所で使用しないでください。